

第8期 子ども大学はにゅう

活動記録(平成30年度)



1日目
~9月15日(土)~

入学式

時間： 9:00~9:30
会場： 埼玉純真短期大学

8年目となる「子ども大学はにゅう」に、市内の小学校 4~6年生の子どもたち 20名が入学しました。今年も楽しく学びましょう！子ども大学卒業生のお兄さん・お姉さんが「サポーター」として、みんなの学びのお手伝いに来てくれました！



埼玉純真短期大学のマナー実践室で入学式を行いました。藤田学長・秋本副学長から子ども大学で学ぶ意義や心得についてお話がありました。

学生代表からはこれから学ぶに当たり抱負が述べられました。今年のカリキュラムも、パラリンピック競技の体験やムジナモの観察など、魅力的な講義がたくさんありそうです。

これからの学びを学生も心待ちにしているようです。

講義Ⅰ

「いつ作る？今でしょ！」
(友達の作り方 教えます)

時間： 9:45~10:30
会場： 埼玉純真短期大学



今日初めて出会った学生たちが、4つのグループに分かれて「5枚のコピー用紙を使って、どれくらい高く積めるかな？」というテーマで、グループごとに協力しながら取り組みました。協力することでできずなが深まり、皆、楽しそうに取り組んでいました。



講義Ⅱ

「パラリンピックを体験しよう」

時間： 10:40~11:30
会場： 埼玉純真短期大学

2年後の東京オリンピック・パラリンピックで行われる「ボッチャ競技」を体験しました。埼玉県障害者スポーツ協会の先生の指導で、4グループに分かれて対戦しました。子ども大学生からは「名前は知っていたが、やったことはなかったの、楽しかった。」という感想がありました。



2日目
~10月20日(土)~

講義Ⅲ

「角帽を作ろう」

時間： 9:00~9:40
会場： 埼玉純真短期大学

2日目の最初の講義では、青少年相談員のお兄さんに教わりながら、修了式でかぶる角帽を手作りしました。毎年行っているおなじみの講義です。サポーターが初めて参加する学生に作り方を教えている頼もしい姿も見られました。



講義Ⅳ

「世界【最速】のワザを持つ食虫植物ムジナモの不思議に迫ろう」

時間： 9:50~10:40
会場： 埼玉純真短期大学



食虫植物のムジナモは、国内最後の自生地といわれている羽生市の宝蔵寺沼で自生しており、国の天然記念物に指定されています。実際に生きているムジナモの葉っぱを触れてみると一瞬で閉じ、皆、ビックリです。電子顕微鏡で撮影した映像を見たりして、食虫植物であることを確認しました。

この講義は、学生時代からムジナモを研究している県立誠和福祉高等学校の鉢坂瑞暉先生が担当しました。



講義Ⅴ

「世界に1つだけ 私だけのモビールを作ろう」

時間： 10:50~11:40
会場： 埼玉純真短期大学



動く彫刻といわれる、モビール作りに取り組みました。針金、画用紙、セロテープ、ボンドを使っての制作です。針金の先端の両方に、自分たちの好きな形に切り取った画用紙を張り付けました。片方が重くなるとモビールにならないので、バランスを取るのが大変でした。皆、工夫を凝らして世界に1つだけのモビールの完成です。

3日目 ~11月17日(土)~

講義VI

「はにゅうの
産業と歴史を知ろう⑤」

時間： 10:00~11:00
会場： ノールケンソー



3日目の講義は、スーパーマーケットである株式会社ケンソー「ノールケンソー店」を訪問し、お店の歴史のほか、商品の仕入れ先（市場）、商品が店内の棚に並ぶまでの作業工程や陳列方法などを学びました。当日は、営業本部長の井上勝先生の案内で、普段は見ることができない青果、精肉、鮮魚、お寿司、惣菜等のバックヤードも見学をさせて頂きました。作業室での効率よい作業用具の配置、各種カッティング方法などを学びながら、従業員の皆さんの作業の様子を見ることができました。見学の後の質問コーナーでは、「商品配置で工夫している点は何か?」「お店で一番安い商品と一番高い商品は何か?」等の質問が出されました。見学を終えて、子ども大学学生からは、「普段見られない裏側が見れた。秘密がわかったので、とてもよかった。」「今後、ケンソーに来たとき、今日教えていただいたことを思い出して、買い物をしたいと思う。」などの感想を話してくれました。



4日目 ~12月8日(土)~

講義VII

「隣の国はどんな国? 韓国ってどんな国」

時間： 9:00~10:00
会場： 埼玉純真短期大学



隣の国はどんな国の2回目は、すぐ隣の国、韓国です。まず、韓国の文化や食生活について紹介があり、次に韓国語についての講義がありました。韓国語で挨拶したり、自分の名前をハングル文字で書いたりしました。また、韓国の昔の遊びの体験や、実際に韓服（チマチョゴリなど）を着る体験もできました。

サポーターのお兄さん・お姉さん



子ども大学はにゅう卒業生(中学生)のみんながサポーターとして帰ってきてくれました。参加学生の良きお兄さん・お姉さんとして雰囲気作りや講義の補助、学生とのコミュニケーションをとってくれました。また、今回は入学式・終了式・各講義の司会を担当してくれました。今まで以上に活発な交流が生まれ、4日間楽しく学ぶことができました。

講義VIII

「学習のまとめ」

時間： 10:10~10:40
会場： 埼玉純真短期大学

今年の4日間の活動を振り返って、「学習のまとめ」を行いました。これまで学習してきたことを、画用紙に書いてまとめます。まとめが出来たら、サポーターの指導で、修了式で行う発表の練習をしました。皆、一生懸命取り組んで、立派なまとめができました。



修了式

時間： 11:00~11:50
会場： 埼玉純真短期大学

「学習のまとめ」の発表後、自分で作った角帽をかぶり、藤田学長から一人ひとり修了証書を受け取りました。学生代表の学生の言葉からも、子ども大学はにゅうでのたくさんの講義がとても充実した経験になったことが感じられました。また、来年はサポーターとして戻ってきたいと言ってくれました。



みんなと一緒にの記念写真



どの講義も、子どもたちにとって忘れられない貴重な体験になりました。これからも、たくさんの方に興味を持って、楽しみながら学んでいってくださいね！
来年も参加者もしくは、サポーターとして会えることを楽しみにしています！

発行日 平成31年3月
発行・編集 子ども大学はにゅう実行委員会
羽生市下岩瀬430
TEL 048-562-0711
FAX 048-562-0715

協力団体
・(学) 埼玉純真短期大学
・(一社) 羽生青年会議所
・羽生市青少年相談員協議会
・羽生ロータリークラブ
・アロハガス(株)
・(有) シガエ芸
・羽生市教育委員会